

平成29年度第3回

中小企業景況調査報告書

平成29年 10月～12月期 報告
平成30年 1月～3月期 予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成29年10月～12月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11 商工会地域 勝浦市商工会、袖ヶ浦市商工会、旭市商工会、野田市関宿商工会、白井市商工会、鋸南町商工会、大網白里市商工会、成田市東商工会、東庄町商工会、富津市商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成29年10月～12月を対象とし、調査期間は平成29年11月3日～11月15日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業種	回答企業数	構成比
製造業	29	17.5%
建設業	27	16.3%
小売業	42	25.4%
サービス業	67	40.6%
合計	165	

(小数点1位以下四捨五入)

(2)業種別構成

① 建設業

業種	回答企業数	構成比
総合工事業	13	48.1%
職別工事業	12	44.4%
設備工事業	2	7.4%
合計	27	

(小数点1位以下四捨五入)

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比
食料品製造業	12	41.4%
飲料・飼料・たばこ製造業	2	6.9%
家具・装備品製造業	1	3.4%
パルプ・紙・紙加工品製造業	1	3.4%
印刷・同関連業	1	3.4%
窯業・土石製品製造業	1	3.4%
金属製品製造業	3	10.3%
精密機械器具製造業	1	3.4%
その他製造業	7	24.1%
合 計	29	

(小数点 1 位以下四捨五入)

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比
各種商品小売業	2	4.8%
織物・衣服・身の回り品小売業	5	11.9%
飲食料品小売業	23	54.8%
家具・建具・じゅう器小売業	3	7.1%
その他小売業	9	21.4%
合 計	42	

(小数点 1 位以下四捨五入)

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比
一般飲食店	25	37.3%
宿泊業	5	7.5%
運送業	2	3.0%
自動車整備業	13	19.4%
洗濯・理美容業	12	17.9%
その他のサービス業	10	14.9%
合 計	67	

(小数点 1 位以下四捨五入)

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

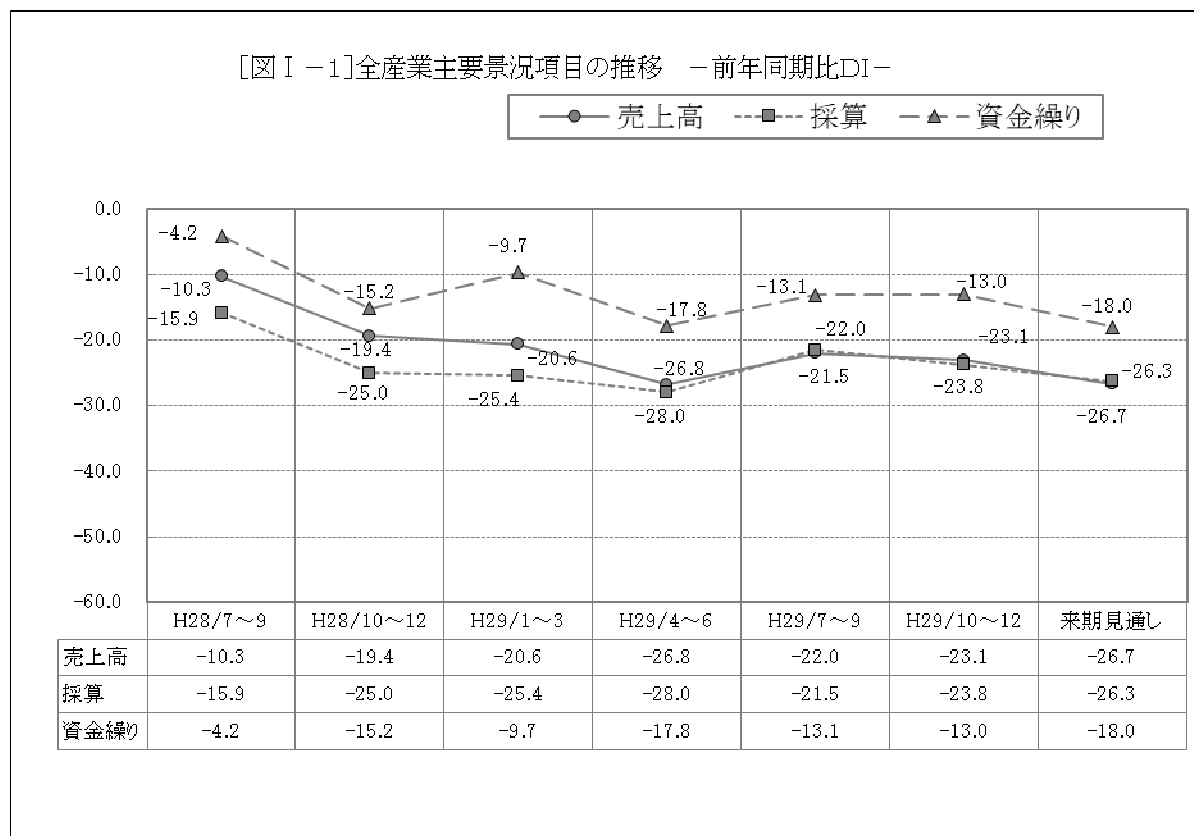
“原材料高騰や天候不順の影響もあり、景況は足踏み状態”

千葉県商工会地区の平成 29 年 10～12 月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図 I -1]に示したとおり、今期売上高 DI 値は-23.1、前期（平成 29 年 7～9 月期、-22.0）比で 1.1 ポイントマイナス幅が拡大。同採算 DI 値は-23.8、前期（-21.5）比で 2.3 ポイントマイナス幅が拡大した。資金繰り DI 値も-13.0、前期（-13.1）比 0.1 ポイントマイナス幅が縮小しているが、全体的には、景況は足踏み状態となっている。

また、前年同期（平成 28 年 10～12 月期）調査と比較してみると、売上高 DI 値は、前年同期（-19.4）比で 11.7 ポイント。採算 DI 値については、前年同期（-15.9）比で 5.6 ポイント。資金繰り DI 値は、前年同期（-4.2）比で 8.9 ポイントマイナス幅が拡大している。前年同期と比較すると全項目で下回っているものの、景況に持ち直しの動きがみられる。

業種別にみると、建設業は好調で、全ての項目で改善している。一方で、製造業と小売業については全ての項目で悪化、サービス業についても、資金繰り DI 値は、改善しているものの、売上高 DI 値、採算 DI 値は悪化しており、原材料の高騰や相次いだ台風の影響による機会損失といったコメントが見受けられた。














来期（平成 30 年 1～3 月期）についても、世界経済も安定しており、原材料高騰や人手不足といったマイナス要素が大きく、すべての項目で DI 値は悪化する見通しである。



II. 各産業の景況

1. 製造業の景況

“一部の業種で景況は悪化、回復の動きは足踏みに”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における製造業の景況は、業種によるバラツキが大きく、特に食料品製造業については、原材料高騰のコメントが多く、景況は悪化している。このため、売上高 DI 値は-13.8 ポイントで、前期（-10.4 ポイント）比 3.4 ポイント、採算 DI 値については-27.6 ポイントで、前期（-20.7 ポイント）比 6.9 ポイント、資金繰り DI 値は-10.3 ポイントで、前期（-6.9 ポイント）比 3.4 ポイントと全ての項目においてマイナス幅が拡大している。

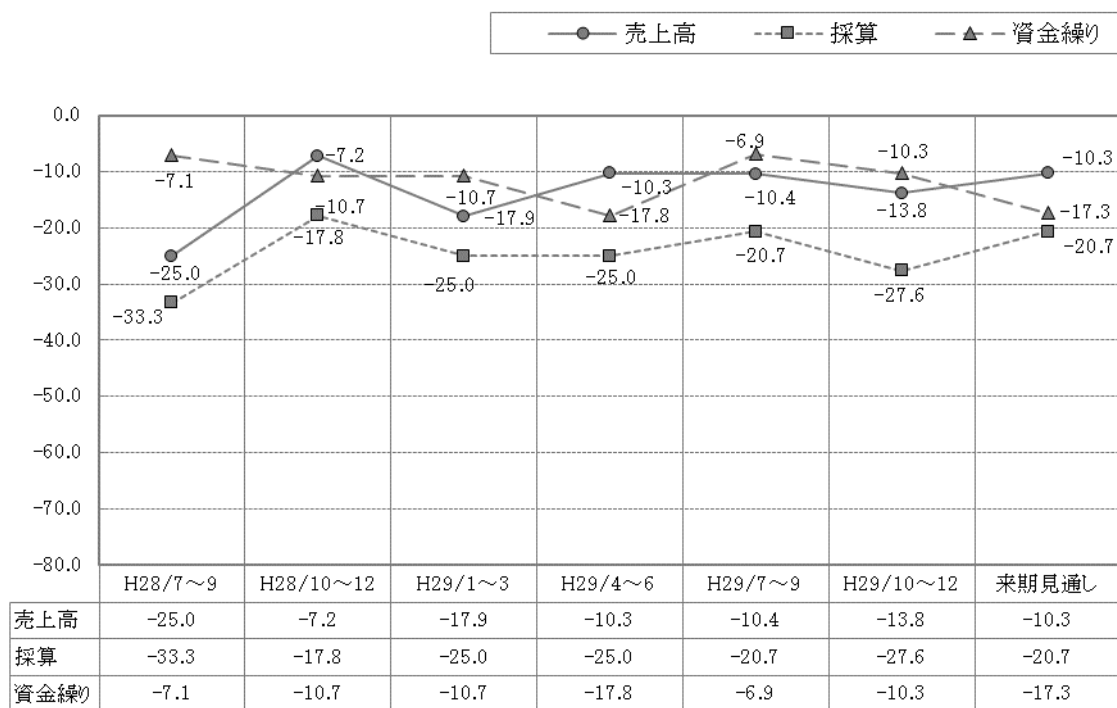
需要の停滞を経営上の大きな問題点とする事業者は減少しており、設備創業率や受注残は維持できていることから、全体的には、景況は足踏み状態といえる。

一方で、原材料価格の上昇を問題点とする事業者が増加しており、燃料費も高騰していることから、価格転嫁や生産性向上についても問題となっている。また、製品ニーズの変化を問題点とする事業者は依然として多く、製品の付加価値化については継続した課題となっている。

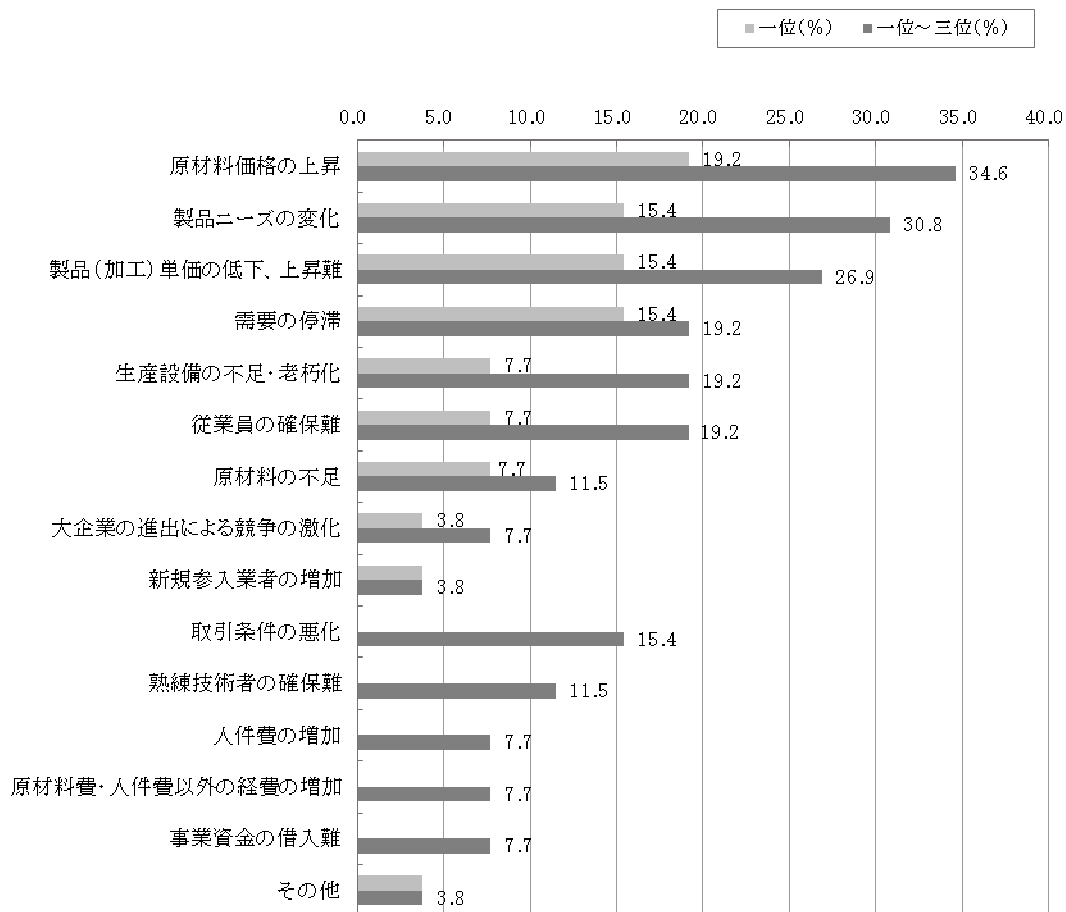
来期については、資金繰り DI 値は悪化も、売上高 DI 値、採算 DI 値は改善を予測、全体的には持ち直す見通しである。

新規設備投資について、今期は 3 社が実施。内訳は工場建物、生産設備、OA 機器となっている。また、来期は 2 社が計画しており、工場建物、生産設備の導入を予定している。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-




[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況





2. 建設業の景況


“人手不足が深刻化するも、景況感是好調”

	今期の景況	来期の見通し
売上高		
採算		
資金繰り		
総合		

 :DI 値 +30～

 :DI 値 +10～+30

 :DI 値 +10～-10

 :DI 値 -10～-30

 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における建設業の景況は、売上高 DI 値が 3.7 ポイントで、前期（-14.8 ポイント）比で 18.5 ポイントと大幅に改善、平成 23 年 7～9 月期以来のプラス値となった。採算 DI 値については-3.7 ポイントで前期（-11.1 ポイント）比 7.4 ポイントマイナス幅が縮小、資金繰り DI 値も 3.7 ポイントで、前期（-7.4 ポイント）比 11.1 ポイント改善しており、回復基調となっている。

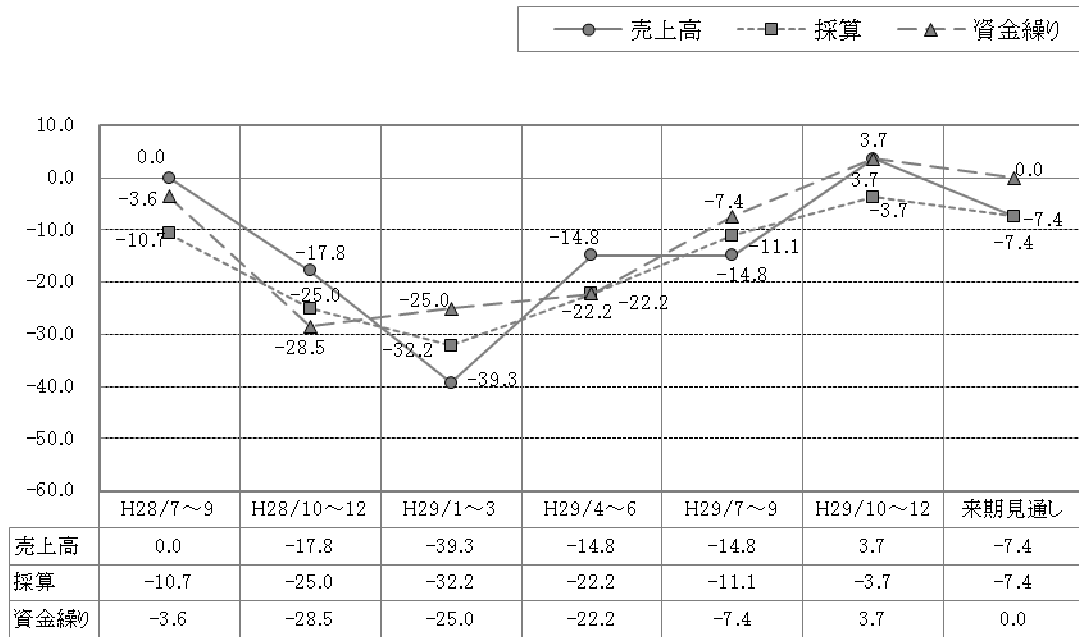
今期も、官公需要が安定しており、これに加え、オリンピック需要が拡大したことから、受注機会が増加している。一方で、従業員の確保難、熟練技術者の確保難を経営上の問題点とする事業者は前期よりもさらに増加、機会損失や納期遅れのコメントも散見されており、人材不足は深刻化している。

また、請負単価の低下・上昇難、取引条件の悪化を問題視する事業者は依然多いため、引き続き注意が必要である。

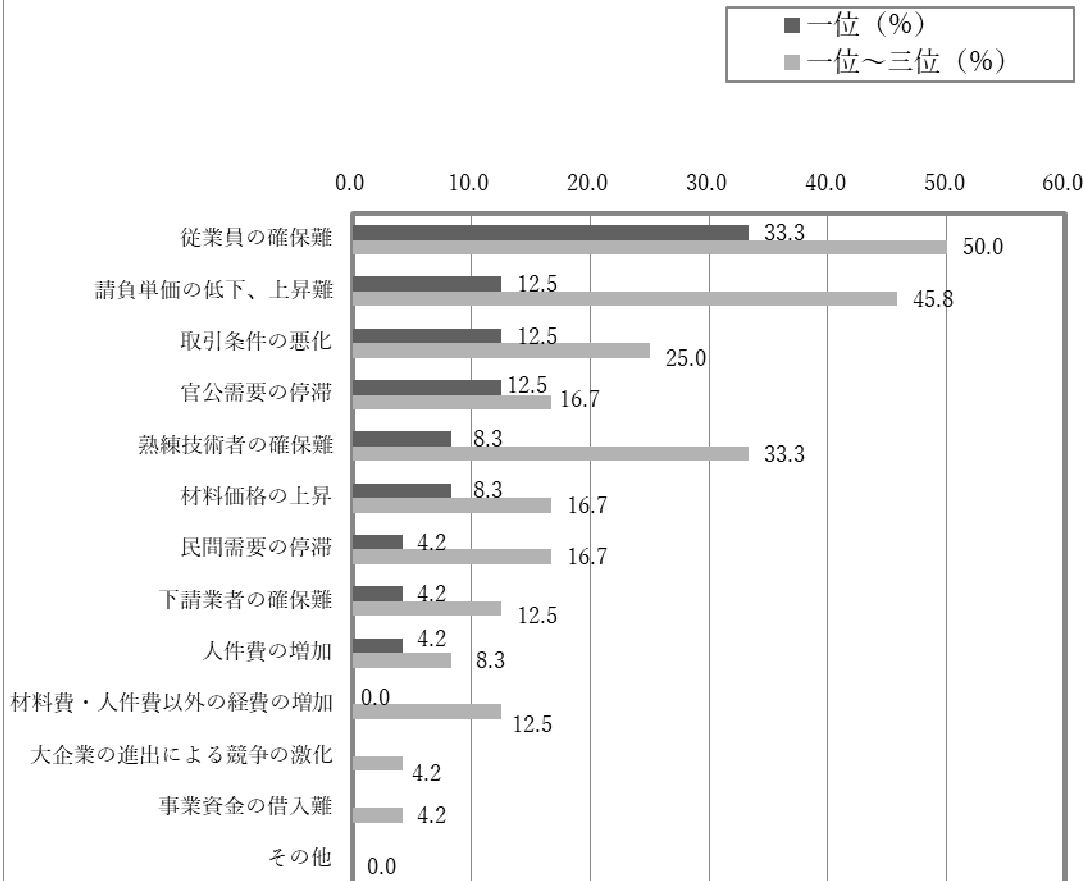
来期については、原材料の高騰、深刻な人手不足の影響から、全ての DI 値において悪化を予想している。

新規設備投資について、今期は 1 社が車両・運搬具について実施。来期については、計画なしとなっている。

〔図Ⅱ－3〕建設業主要景況項目の推移 ー 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ－4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

“天候不順の影響もあり、景況は悪化”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

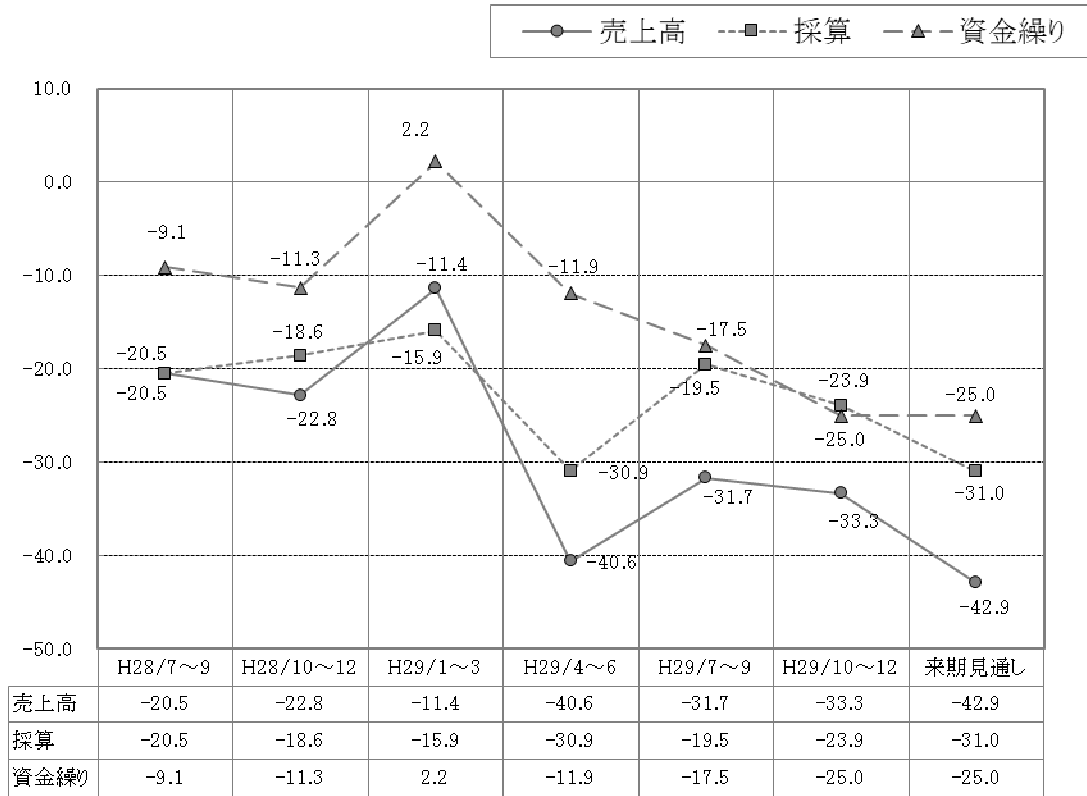
千葉県商工会地区における小売業の景況については、週末ごとの台風の影響もあり、客数、客単価ともに減少している。売上高 DI 値は-33.3 で、前期(-31.7)よりも 1.6 ポイント、採算 DI 値については-23.9 で、前期(-19.5)から 4.4 ポイントマイナス幅が拡大している。資金繰り DI 値については-17.5 で前期(-25.0)から 7.5 ポイントと 3 期連続でマイナス幅が拡大している。

前期と同様に購買力の他地域への流出、大型店・中型店の進出、需要の停滞の上位 3 項目を問題点にあげる事業者は変わらず多い。今期は、これに加えて、人件費の増加を問題点にあげる事業者が増えているおり、商品仕入単価も上昇していることから、景況は悪化している。

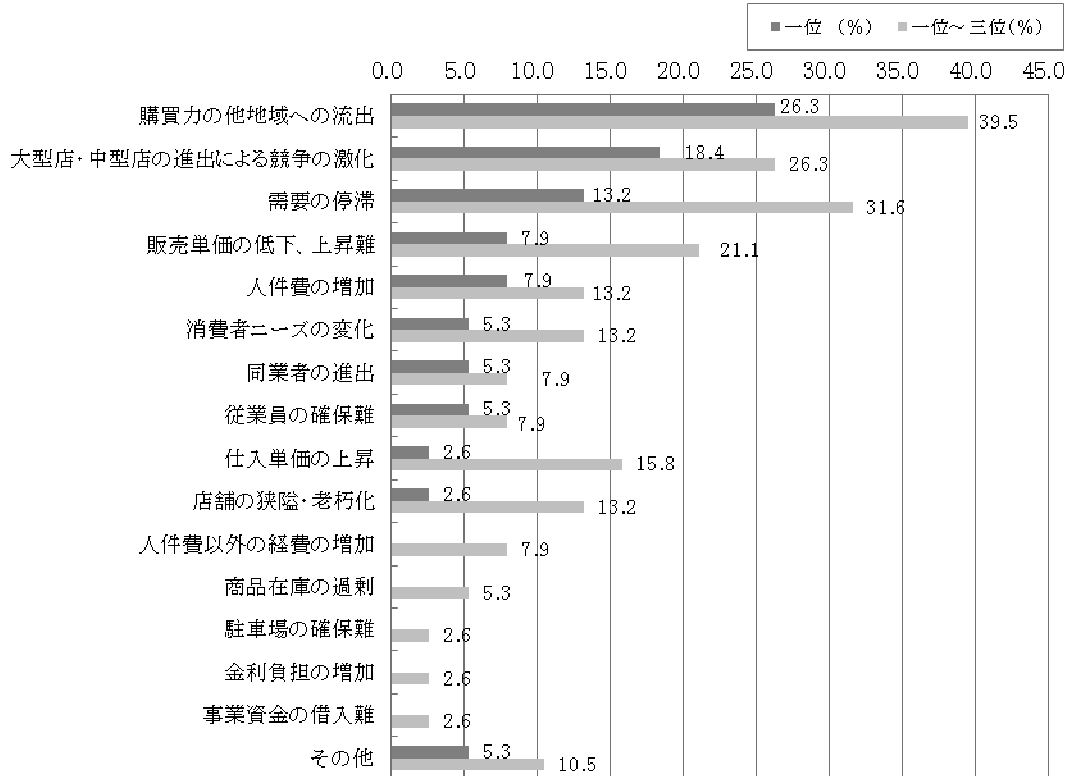
来期についても、悲観的なコメントが多く、資金繰り DI 値については変わらない予測であるが、売上高 DI 値、採算 DI 値については、悪化する見通しである。

新規設備投資については、今期は 5 社が実施。内訳は、店舗、付帯施設、OA 機器等となっている。また、来期計画は 7 社で、土地、販売設備、付帯施設、OA 機器等の導入を予定している。

[図II-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図II-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“天候不順と原材料高騰の影響により、景況は悪化”

	今期の景況	来期の見通し	
			 :DI 値 +30～
売上高			 :DI 値 +10～+30
採算			 :DI 値 +10～-10
資金繰り			 :DI 値 -10～-30
総合			 :DI 値 -30～

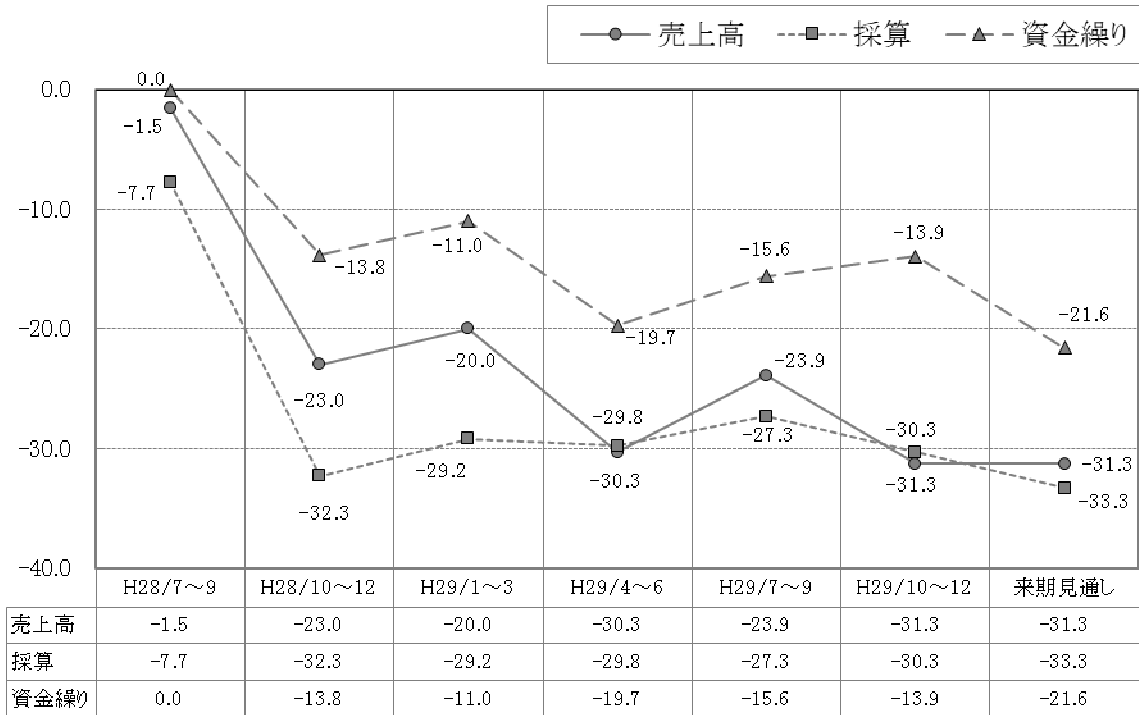
千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、2週連続の台風等天候不順や原材料や燃料費高騰の影響もあり、売上高 DI 値については、-31.3 ポイントで、前期（-23.9）より 7.4 ポイント、採算 DI 値についても、-30.3 ポイントで前期（-27.3）から 3.0 ポイントマイナス幅が拡大している。資金繰り DI 値は、-13.9 ポイントで前期（-15.6）から 1.7 ポイントマイナス幅は縮小している。

今期については、材料等仕入単価の上昇や利用料金の低下、上昇難を問題とする事業者が増加しており、原材料高騰分について価格転嫁やコスト吸収ができていない状況が浮き彫りとなっている。

来期については、売上高 DI 値は、変わらないものの、採算、資金繰り DI 値は、それぞれ悪化する見通しであり、先行きの不透明感が増している。

なお、新規設備投資については、5社が実施。内訳は、土地、建物、サービス設備、車両・運搬具、OA 機器となっている。また、来期の計画では 2社が、土地、車両・運搬具の導入を予定している。

[図Ⅱ-7]サービス業主要景況項目の推移 ー前年同期比DIー



[図Ⅱ-8]サービス業 経営上の問題点の状況

